

どんな検知器ならOK？ NG？ 記録は？ メンテは？

安全運転管理者の業務が 大きくかわる

白ナンバー アルコールチェック義務化対策セミナー

飲酒運転防止に関する道路交通法施行規則 9 条改正
3 つの義務の解説と、包括的な対策について

<対象者> 企業経営者（使用者）、管理部長、安全運転管理者、衛生管理者、運航管理者、運行管理者、産業医

安全運転管理者は、



- I アルコール検知器を用いて酒気帯び確認をしなければならない
- II アルコールチェック実施の記録を1年間保存しなければならない
- III アルコール検知器の設備管理をしなければならない



白ナンバーアルコールチェック 義務化の背景と対策

道路交通法改正「3つの義務」。

これ以外にも、マイカー通勤者対策等、労働安全衛生法観点も加えて
「ポーズだけではない体制」「形骸化しない体制」についてご説明します。

- ・ 千葉県の飲酒運転事故と、日本の飲酒運転者年間 2 万人の関係
- ・ 緑ナンバートラックで飲酒運転が減らない理由
- ・ 白ナンバー職業別飲酒運転者から浮かび上がること
- ・ 使用者と安全運転管理者が絶対に理解しなければならない3つの義務化
- ・ 義務化に対応できるアルコール検知器の選び方
- ・ 500円のアルコールチェッカーと15万円のアルコール測定器の違い
- ・ アルコールインターロックは、該当機器として認められるか？
- ・ アルコール検知器義務化 鉄道、航空、トラック・バス・タクシーの事例
- ・ 社用車だけでいいのか？ マイカー通勤者、電車通勤者はどうするのか？
- ・ アルコール検知器 認定制度はあるのか？ 技術規格について
- ・ アルコール検知器 導入ハンドブック
～ 何のための、アルコールチェックか？～

■プレゼンター
東海電子株式会社 取締役執行役員
松本 剛洋



5 / 20 金

13 : 30 ~ 14 : 30

【開催方法】

ZOOMによるオンライン形式(30分前よりご参加頂けるよう調整致します)

【申込み方法】

下記URL、または東海電子HPより参加登録をお願い致します。

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_ZIRcSfpiTO6QHAwewYc3Zg

お問合せ 東海電子株式会社 td-seminar@tokai-denshi.co.jp